

Tsuyama College	Year	2018	Course Title	日本語
-----------------	------	------	--------------	-----

Course Information				
Course Code	0046	Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Lecture	Credits	School Credit: 3	
Department	Department of Integrated Science and Technology Advanced Science Program	Student Grade	3rd	
Term	Year-round	Classes per Week	3	
Textbook and/or Teaching Materials	教科書：アカデミック・ジャパニーズ研究会編著（2015）『改訂版 大学・大学院留学生の日本語②作文編』アルク			
Instructor	KATO Manabu			

Course Objectives				
学習目的：高専における学生生活を有意義に過ごすとともに大学院レベルの教育課程に進む可能性を伸ばすため、学術的な活動に対応できる総合的な日本語能力の育成を目指す。				
到達目標： 1. 新聞や教科書に書かれている漢字・文章が理解できる。 2. 相手やその場に応じた適切な日本語を使って話ができる。 3. 日本語で情報を収集し、論理的に文章を書くことができる。 4. 日本文化への理解を深めるとともに、それらに親しもうとすることができる。 ◎. 日本語の効果的な説明方法や手段を用いて自分の意見を伝え、円滑なコミュニケーションを図ることができる。				

Rubric				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	到達レベルの目安(可)	到達レベルの目安(不可)
評価項目1	日本語能力試験N1程度の文章を読み理解できる。	日本語能力試験N2級程度の文章を読み理解できる。	日本語能力試験N2級程度の文章を概ね読み理解できる。	日本語能力試験N2程度の文章が読んで理解できない。
評価項目2	日本語能力試験N1程度の漢字を使いながら、テーマに沿った作文を書くことができる。	日本語能力試験N2程度の漢字を使いながら、テーマに沿った作文を書くことができる。	日本語能力試験N2程度の漢字を使いながら、概ねテーマに沿った作文を書くことができる。	テーマに沿って、読み手が理解できるような作文を書くことができない。
評価項目3	ディスカッションに積極的に参加することができる。また、スピーチを行うことができる。	ディスカッションに参加することができる。また、スピーチを行うことができる。	ディスカッションに参加することができる。また、概ねスピーチを行うことができる。	ディスカッションで発言することができない。スピーチを行うことができない。

Assigned Department Objectives

Teaching Method	
Outline	<p>一般・専門の別：一般 学習の分野：国際コミュニケーション 必修・必履修・履修選択・選択の別：必履修</p> <p>基礎となる学問分野：言語学・日本語</p> <p>学習・教育目標との関連：本科目は総合理工学科学習目標「⑤ グローバルな視点と社会性の養成」に相当する科目である。</p> <p>技術者教育プログラムとの関連：本科目が主体とする学習・教育到達目標は「(F) コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の育成、F-1：日本語による発表や討論・記述をとおして、自分の考えを相手に表現できること」である。</p> <p>授業の概要：学校生活に必要な読解力・作文力を向上させるために、さまざまな日本語で書かれた日本語の文章を読み、身近な話題について作文を書く。同時に、日本での生活に必要な会話力・聴解力を伸ばすためにディベートやスピーチなども行う。</p>
Style	<p>授業の方法：教科書に沿って授業を進めながら、新聞記事やインターネットからの記事を使って漢字の練習やディスカッションなどを行う。</p> <p>成績評価方法：年4回の定期試験の結果をそれぞれ同等に評価する。（60％）。課題提出・参加状況（40％）。再試は行わない。</p>
Notice	<p>履修上の注意：課程修了のために履修が必須</p> <p>履修のアドバイス：授業時間だけでなく、日常的に周囲で使われている日本語全般に注意を払い、吸収してゆく積極性が重要である。また授業ごとの課題を必ずやって授業の内容を復習すること。</p> <p>基礎科目：留学生準備研修（出身国により異なる） 関連科目：理科学語（留学生3年）</p> <p>受講上のアドバイス：授業開始後20分以内であれば遅刻とし、遅刻は3回で1単位時間の欠課とする。不明な点は積極的に質問してください。</p>

Course Plan				
			Theme	Goals
1st Semester	1st Quarter	1st	コースガイダンス, 表記のしかた	本科目の到達目標が理解できる
		2nd	文体と書きことば	文体と書きことばが理解できる
		3rd	文体と書きことば	文体と書きことばが理解できる
		4th	話し言葉との比較	書きことばと話し言葉の違いが理解できる
		5th	文の構成	文の構成について理解できる
		6th	段落内の構成	段落内の構成について理解できる
		7th	復習とまとめ	学習した内容を活用して文章が書ける
		8th	(前期中間試験)	

	2nd Quarter	9th	中間試験の返却とフィードバック	
		10th	指示詞：「こ」「そ」「あ」	指示詞について理解できる
		11th	指示詞：「こ」「そ」「あ」、助詞：「は」と「が」	助詞について理解できる
		12th	助詞：「は」と「が」	助詞について理解できる
		13th	助詞相当語	助詞相当語について理解できる
		14th	復習とまとめ	学習した内容を活用して文章が書ける
		15th	(前期期末試験)	
		16th	前期末試験の返却と解答解説	
2nd Semester	3rd Quarter	1st	理由の表現	理由の表現について理解できる
		2nd	時間の表現	時間の表現について理解できる
		3rd	定義：「こと」と「の」	定義について理解できる
		4th	定義：「こと」と「の」	定義について理解できる
		5th	助詞相当語②	助詞相当語②について理解できる
		6th	間接疑問	間接疑問について理解できる
		7th	復習とまとめ	学習した内容を活用して文章が書ける
		8th	(後期中間試験)	
	4th Quarter	9th	中間試験の返却とフィードバック	
		10th	文末表現と引用のしかた	文末表現と引用が理解できる
		11th	接続表現①	接続表現①が理解できる
		12th	接続表現②	接続表現②が理解できる
		13th	指示詞：「こ」「そ」「あ」復習	指示詞を使って文章が書ける
		14th	復習とまとめ	学習した内容を活用して文章が書ける
		15th	(後期期末試験)	
		16th	後期末試験の答案返却と試験解説	

Evaluation Method and Weight (%)

	試験	発表	相互評価	課題	ポートフォリオ	その他	Total
Subtotal	60	10	0	30	0	0	100
基礎的能力	60	5	0	30	0	0	95
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	5	0	0	0	0	5